

実施報告書

HT26087

【プログラム名】日本語で世界とつながろう！！



開催日：平成26年7月26日(土)

実施機関：昭和女子大学  
(実施場所) (昭和女子大学 大学1号館)

実施代表者：鈴木洋子  
(所属・職名) (文学研究科・特命教授)

受講生：小学生5年11名、6年生9名

関連URL：<http://swu.ac.jp/2014/05/28/12918/>

【実施内容】

小学生対象のプログラムであったため、クイズ形式の講義にした。ことばの大切さを実感してもらうこと、そのために「ことば」のマインドマップを作成させたり、自身にとって大事な日本語・好きな日本語を図に記入させるなどの作業をした。説明に必要なマンガなども挿入したレジュメを作成。その他講義中に必要な作業ノートや漫画・イラスト集も作成し各自が記入しそれらを持ち帰ることができるようにした。留学生や地方出身者の国や地域の紹介をもらい、言語をいろいろ使えることで国際的視野が開けるという意識を高揚させる工夫もした。東京オリンピックや外国人観光客・在住外国人について、世界における日本語学習者の状況なども小学生が理解出来る範囲で説明した。昼食は4名のグループで留学生の話の間かきながら摂らせたところ、活発な質疑応答が各グループでみられた。午後は昼食時のグループでの活動にした。マンガの吹き出しやオノマトペについて解説しながら、各グループに2つずつ絵だけのマンガを与えそれに吹き出しやオノマトペを書かせてマンガを完成させ、そのタイトルもつけさせた。各自が作成したマンガをグループ内で発表しあい、グループで最高のマンガにしあげさせた。拡大コピーしたマンガ絵にセリフなどを清書させた。初めてこのプログラムで会った児童たちが協力する姿から高度な社会性、チームワークの素晴らしさを改めて感じる事ができた。拡大コピーにセリフなどを記入してできあがったマンガを発表するために、役割分担などもグループで話し合せて決めさせた。各グループ2つのマンガにそれぞれ登場人物が2人いることから全員がどれかの人物に扮して吹き出しのセリフを読むことになり、全員が発表できた。吹き出し作成で工夫したところ、難しかったところなどを発表・評価しあった。マンガが好きな児童が多かったこともあり、大人では思いつかないようなセリフやオノマトペの創作があり、見学の保護者を含め笑いや拍手が多くあった。

【当日のスケジュール】

- 10:30～10:45 開講、科研費の説明・本日の予定・実施協力者の自己紹介・集合写真撮影
- 10:45～11:15 「日本語のおもしろさ」の講義(実施代表者による)
- 11:15～11:25 休憩
- 11:25～12:10 「日本語・マンガの日本語」についての講義(実施代表者による)
- 12:10～13:00 グループに分かれて、留学生のおねえさんの話をききながら昼食
- 13:00～13:45 いろいろな紙をちぎったり丸めたりしてオノマトペを創作。グループ内での発表。
- 13:45～13:55 休憩
- 13:55～14:40 4コママンガ絵を与え、各自マンガを完成。グループ内で最高作品に仕上げる。
- 14:40～15:00 クッキータイム(討論続行グループもあり)
- 15:00～16:00 拡大コピーしたマンガ絵にグループで完成させた吹き出しを記入し発表。質疑応答。
- 16:00～16:15 実施協力者の出身地の位置を世界地図で確認し、その国・地方について紹介。
- 16:15～16:30 アンケート記入・未来博士号授与・集合写真等を渡す。実施代表者のまとめで閉会。
- 16:30 終了

## 【実施の様子】



【初めにみんなで記念撮影】



【講義の様子】

### 【グループワークの時間】



【昼食タイム】



【グループ発表】



【未来博士号授与】

## 【事務局との協力体制】

- ・学科の助手が事務的なことや印刷などの作業を担当した。  
受講生の申し込みやその確認、使用物資の調達、弁当の発注なども学科の助手が担当した。
- ・日本学術振興会との連絡、提出書類の確認・修正などは事務局が担当した。
- ・大学のイベントとして大学側から多大な協力が得られたおかげで無事遂行できた。

## 【広報活動】

- ・区の教育委員会に区内の小学校にポスターを送付していただいた。ちらしも近隣校に配布した。
- ・郵便局 5局にポスターを掲載。
- ・実施校の駐車駅の東急電鉄からHPIに掲載依頼を受け、ありがたく承諾した。

## 【安全配慮】

短期の傷害保険に全員加入した。

## 【今後の発展性・課題】

小学5、6年生は発言が活発にでる最後の学年かもしれない。はじめは参加者のなかでも自分からは話すことができない子がいたが、最終的には皆で協力して楽しく発表できた。もっと低学年での実施もよい。グローバル人材育成に寄与できる。  
課題としては小学生は夏休みの予定が休み初めに入ることが多らしくキャンセル続出で非常に苦労した。早くから宣伝する必要があるが、夏休み予定が児童に配布されたあと申し込みを受けるのがよいと思う。

## 【実施分担者】

なし

【実施協力者】           11名          

## 【事務担当者】

倉元美香(大学事務局 研究支援担当)